



日教組中央執行委員長に 泉雄一郎さん着任

1991年度から26年間、本部役員として執行委員長を務めた泉雄一郎さん(伊丹市教組)が、3月の日教組臨時大会で日教組中央執行委員長に選出され、着任した。また、14年度より山本正博さん(三木市教組)が中央執行委員を務めている。

組合員の皆さんをはじめ、多くの方々から叱咤激励をいただきながら、微力な私を支えていただいたことに心から感謝を申し上げます。

兵庫では、阪神・淡路大震災から学んだ「生きる力」をばぐくむ教育をめざしています。

人権を基盤にすえた運動を中央でも

語れないと思っています。その震災では日教組の皆さんが、避難所となった被災地の学校に「教育復興促進ボランティア」を派遣してくれました。日教組が、組織としてのコンプライアンスとガバナンスが問われた厳しい状況にある今、震災時にいただいたご支援に込める恩返しをしないといけないの思いもあり、このたびの補欠選挙に立候補させていただきました。

皆さんには、ご心配やご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、兵庫の地から日教組運動を支えていただければ幸いです。

連合体兵教組として



新体制スタート!



川原 芳和
中央執行委員長

冒頭、川原中央執行委員長はあいさつで、年度当初のとりくみの討議の素材として、今年兵教組が結成70周年、兵庫教育文化研究所は設立40周年を迎えること

兵教組は、3月28日、29日の2日間、ラッセルホールで第1回新旧支部(地域組合)三役合同会議を開催した。当面する具体的なとりくみについて、質疑・応答、討論がおこなわれ、新年度からのとりくみの意思統一をはかった。

についてふれ、「この10年で組合員の半数が入れ替わり、若い組合員が増えていく。次の時代を担う青年層

第1回新旧支部(地域組合)三役合同会議



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原 芳和
編集人 西嶋 保子
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2017/4・1
No. 1926

2面

・「こどもの詩と絵」第37集
表彰式・発刊集会

これまでの運動や教育研究・教育実践をしっかりと語り継ぎ、日常的に『組合活動の見える化』運動を強めていかなければならないと考えている」と述べた。このことをふまえ、「主任制闘争や勤評闘争、組織の分裂、阪神・淡路大震災など大きな出来事があるたびに兵教組は組織の力をつけていった。なかでも『主任制闘争』は団結の力を内外に示した大闘争であった」とし、当時の運動を振り返った。

2日目には、各地域組合・専門部代表による決意表明がおこなわれた。新規採用教職員の完全加入にむけたとりくみや、政策・制度要求実現へのとりくみへの決意のほか、組織改編による運動の停滞を招くことがないよう横のつながりを強めるなどの発言があった。

2日間にわたり、当面する年度当初のとりくみなどが意思統一され、新しい体制のもと、17年度の兵教組のとりくみがスタートを切った。

お詫びと訂正
3月15日(1925)号「第142回定期大会」の記事において、信任された役員の名前の中に、本部執行委員として信任された前田達史さん(神戸)の記載がありませんでした。お詫びして訂正いたします。なお、兵教組HPに掲載している「教育ひょうご」には訂正版を反映しています。

17年度 兵教組本部執行体制



川原 芳和
中央執行委員長
(芦屋市教組)



西嶋 保子
中央執行副委員長
財政・生活・広報・女性部長
(三田市教組)



森戸 卓也
書記長
(豊岡市教組)



美安 周平
書記次長
教文部長
(姫路市教組)



前田 達史
法政・情報管理部長
(神戸市教組)



頓田 幸平
教財部長
(明石市教組)



岡田 滋久
組織部長
(宍粟市教組)



三上 雅康
賛対・青年部長
(美方郡教組)



木南 拓也
総務部長
(兵教組職員)



奥野 尚美
専門委員
(西宮市教組)

兵庫教育文化研究所



大野 圭一
事務局長
(兵教組多紀教組)



大塚 昭宏
事務局次長
(南あわじ教組)



小原 武次郎
副所長
(兵教組尼崎教組)



塚田 良子
副所長
(三田市教組)

2017 Spring

Lasse Hall

人集い、街華やぐ交流拠点

ラッセホール

春のパンケッツプラン

2017年3/1(水) ▶▶ 2017年5/31(水)

2時間制 20名様から

春のお祝い・お食事会・歓送迎会、様々なシーンに

お料理+フリードリンク

※Aプラン又はBプランよりお選びください。

陽春の宴

お一人様 5,000円
(税金・サービス料込)

【卓盛りメニュー】

- 春野菜とシーフードのマリネ
- ローストビーフサラダ
- 鰹のたたき
- ポークの唐揚げ スイートチリソース
- チキンとマカロニのグラタン
- 蓮根と海鮮の焼き揚げ揚げ
- 淡路産オニオンカレー
- フルーツデザート(パフェコーナーにてご提供)
- コーヒール(パフェコーナーにてご提供)

歓送迎会プラン

お一人様 6,500円
(税金・サービス料込)

【卓盛りメニュー】

- 春の前菜盛り合わせ
- お造り二種盛り合わせ
- 鰹のたたき 淡路玉ねぎ添え
- 鰹のけんちん焼き
- 淡路産柳川風煮物
- 小川のグリル ハルサミ風味
- 神戸ポークも肉のブランケット
- 合鴨と蓮根のつくねと旬の揚げ
- 牛肉焼きそば中華ソース
- フルーツデザート(パフェコーナーにてご提供)
- コーヒール(パフェコーナーにてご提供)

フリードリンク

- 瓶ビール
- 焼酎(芋/麦)
- ウイスキー
- ハイボール
- 赤/白ワイン
- 日本酒
- ウーロン茶
- オレンジジュース

※記載プラン以外も、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

※ご延長の際は30分につきお一人様500円(税金・サービス料込)の追加料金をいただきます。※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。

注意事項 ※お料理、フリードリンク、音楽・照明費(ワイヤレスマイク2本付)、会場費(2時間)、税金、サービス料が含まれております。

※当日キャンセルの場合は全額キャンセル料としていただきます。

その他、オプション等、多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110

お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8

TEL.078-291-1117 (代表)

FAX.078-291-0333

https://www.lassehall.com

E-mail info@lassehall.com



入選者を代表して、作品の説明をする子どもたち



★本紙では、発刊集会で発表された詩や絵の一部を紹介する。また今後、教育ひょうごやさまざまな発刊物で、子どもたちの作品を掲載していく。

「こどもの詩と絵」第37集 表彰式・発刊集会

3月5日（日）、ラッセホールで「ひょうご 2016 こどもの詩と絵 第37集」表彰式・発刊集会を開催し、子ども・保護者、教職員等およそ850人が参加した。

兵庫県教職員組合・ひょうご芸術文化センターは、兵教組教育文化・社会貢献事業の一環として、県内各地域の小・中学生による作品集『こどもの詩と絵』の編集を継続してとりくみ、今回で37集を迎える。

今回は、詩640点、絵2,010点の応募総数の内、入選した詩130点、絵245点が掲載されている。

子どもたちが普段の生活や体験のなかから、自分がみたこと、感じたこと、考えたことなどを「詩や絵」とおして表現した作品は、私たちにほのぼのとしたあたたかさを与えてくれる。この本が、学校や家庭で読み、語られ、人々に元氣や癒し、励ましを与えるものとなることを期待する。

とまりにくるよ

組合立播磨高原東小学校

松村

一年 美玖

おばあちゃんがとまりにくるよ

「たのしみだなあ。」

「はやくあいたいな。」

わたしもおにいちゃんも

あさからそわそわ。

ゆうがたまで

まって まって

「やったあ。やっときた。」

げんきいっぱいあいさつしたよ。

おばあちゃん

いっぱいいっぱいはいしたよ。

おふろにもいっしょにはいった。

おばあちゃんのせなかをあらった

ごしごし ごしごし

あらったよ。

「きもちいいわ。」

といってくれた

うれしかった

学校のこともだちのこと

たくさんはなしたよ

おばあちゃん

「うん、うん。よかったね。」

とにつこり

おばあちゃん大すぎ

おばあちゃんとおにいちゃんと

わたしと三にん

いっしょにねるよ

あしたはおばあちゃんと

なにしうかな。

「お母さんなにを読んでいるの？」

姫路市立大塩小学校 三年 藤田 風樹



かなしかった半周走

丹波市立小川小学校 三年

堀井 小都音

半周走でスタートからゴールまで

ぜったい一位になってやると考えてた

一位一位と頭の中が一位のことで

いっぱいだった

わたしは手と足をはやく

こつこつこつこつこつこつ

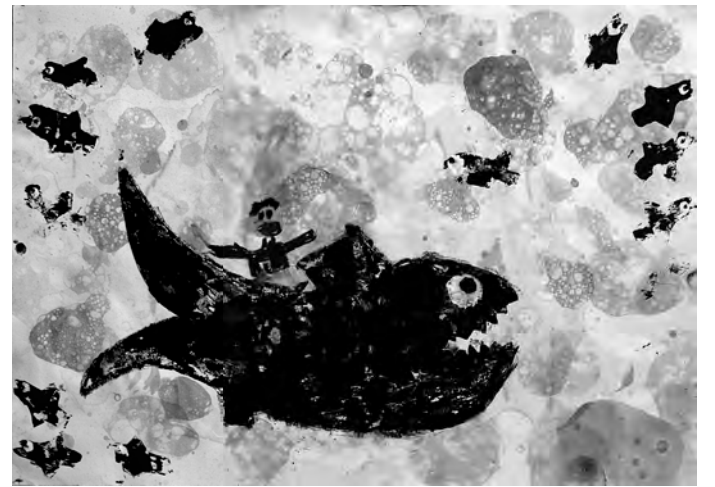
力いっぱいふって動かした。

でも三位でくやしなみだ

なみだがとまらない

でも次こそは一位になってやる

わたしはあきらめない人なんだ。



『『スイミー』のせかいにとびこんだら…』

三木市立中吉川小学校 二年 藤枝 怜央

いのち

香美町立余部小学校

五年

六年合作

いのちは一人にひとつだけ

いのちがあるって、どういふこと？

心臓が動くことだよ。

息ができることだよ。

心が動くことだよ。

感情があることだよ。

生きていることだよ。

いのちは一人にひとつだけ

いのちがあればどんなことができるの？

思いっきり動いて 卓球ができるよ。

大好きな 野球ができるんだ。

家族や友達と話したり笑ったりできるよ。

いのちがあるから

楽しんだり悲しんだりできるんだよ。

でもね、いのちは少しのことで傷つくの。

とても、とても、大切に、尊いもの。

いのちって

シャボン玉のようなものなんだね。

そう、いのちは一番大切なもの

なくてはならないもの

絶対に人からうばってはいけないもの

毎日、毎日、心と体を精一杯動かして

生きるといふことの大切さを感じたい



「わたしの靴」

淡路市立石屋小学校 五年 嶋本 涼七

人生の答え

神戸市立白川台中学校

上村

一年 拓丈

人生の正解はお金持ち？

人生の正解は幸せ？

人生の不正解は貧乏？

人生の不正解は不幸？

人生の答えって何だろう。

人生の答えって何だろう。

正解はプラスで

不正解はマイナス？

そんなわけではない。

自分でそう思っているだけ。

よくよく考えたら

答えなんてないのかも。

人生の答えって何だろう。

僕は今、幸せ。

でも、これが

人生の正解というわけではない。

たとえ答えがなかったとしても

僕は自分なりの答えを探していく。



「上野動物園の仲間たち」

宝塚市立宝梅中学校 二年 武藤 真裕

本は子どもたちがおとなになって、「詩と絵のタイムカプセル」に残された大切なことばに出会うことができます。

—選者のことばより